

各 位

## 平成22年度「学芸員専修コース」の開催について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

東京大学総合研究博物館は、平成5年度以来毎年秋に「学芸員専修コース」を開催し、これまで相当数のコース修了者を送り出して参りました。

本専修コースは、国内の博物館及び博物館相当施設で働く専門職員を主な対象とするものです。本専修コースは、大学等の高等研究機関で生まれる新しい研究の成果を広く紹介し、それをもって自然史・文化史の枠を超えた、文字通り博物学的な「博物館学」を、博物館資料の収集や管理、資料活用や展示設計に関わる「実践的な知」と併せて習得させる専門的リカレント教育の場として企図されています。

つきましては、同封の平成22年度募集要項をご検討頂き、貴機関の関係各位に周知のうえ、併せて参加をお奨め頂ければ幸甚に存じます。

敬 具

平成22年8月

東京大学総合研究博物館

館長 西野 嘉章

# 平成22年度「学芸員専修コース」研修生募集要項

テーマ： 映像博物学の挑戦

## 1. 平成22年度研修の趣旨及び内容

20世紀は映像の世紀であったといわれる。19世紀以降、写真、映画、テレビ、インターネットが生まれ、視覚情報の生産と流通は劇的に増大した。社会の出来事や物語がおびただしい映像断片に記録され、世界は映像を介して理解される対象になっている。対して、ミュージアムはもっぱら標本資料の収集蓄積によって世界を記録してきた。モノの世界であるミュージアムにおいて、映像はそもそも疎遠な対象であるか、副次的な演出術に過ぎないと見なされがちである。しかし、宇宙規模に拡大する事象を記録する手段として、また近代以降の人間活動の研究対象そのものとして、映像は極めて重要な存在である。すなわち、映像技術を活用した博物学と、映像自体から世界を探求する博物学がともに立てられるべきである。これらまとめて「映像博物学」と称するなら、それは、「人間が世界を見る」という知の根底を映像によって再編する試みにほかならない。

本年度の学芸員専修コースにおいては、初めての実践として、ミュージアムにおける「映像」の可能性をテーマとする。映画制作、映像保存学、博物学、文化人類学、自然科学などの専門家による講義を前半に置き、後半では受講者らが実際にミュージアムを題材とする映像作品の制作を実習する。本年度の内容は、ミュージアムにおける映像活用の検討に資するだけでなく、ミュージアムの現在的な基幹機能を幅広く問い直すものになるだろう。

## 2. 実施期間及び場所

期間：平成22年11月8日（月）～12日（金）

場所：東京大学総合研究博物館 本館第一演習室

（〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1）

## 3. 担当教員

松本 文夫（東京大学総合研究博物館・特任准教授）

matsumoto@um.u-tokyo.ac.jp

応募手続関係の問合せは9項の連絡先をお願いします。

## 4. 募集人員

12名

## 5. 募集期間

平成22年8月9日（月）～平成22年9月30日（木）

応募は郵送によること（必着）。

## 6. 応募資格

博物館、美術館、資料館、埋蔵文化財センター及び文化関連事業を行う施設において、学芸員資格取得者もしくは学芸員としての業務に直接携わる者。

## 7. 受講料

10,000 円

## 8. 応募方法

次の書類を郵送すること（申し込みは郵送に限る）。

イ. 所定の受講申込書（必要事項を記入すること）

ロ. 所定の推薦同意書

ハ. A4サイズの返信用封筒（宛名を記入し、140円切手を貼付のこと）

## 9. 応募先

東京大学総合研究博物館「学芸員専修コース」実施委員会

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-2802 FAX：03-5841-8451

## 10. 選考結果の通知

東京大学総合研究博物館「学芸員専修コース」実施委員会において選考のうえ受講の可否を決定し、10月初旬までに各応募者に通知する。

## 11. その他

- ・映像制作の経験の有無は問いません。
- ・専修コース後半の映像制作実習は2グループ程度に分かれて行います。
- ・受講者には、以下のレポートを提出していただきます。（3項の担当教員に）
  - 1) 本年度のテーマ「映像博物学の挑戦」に関連し、「ミュージアムにおける映像の活用のあり方」について考えることをA4判2枚以内に記述し、専修コース開始前に電子メールで提出。
  - 2) コースを受講した感想等について、専修コース終了後に電子メールで提出。
- ※1)、2)ともに提出時期・形式等は受講者に別途連絡します。
- ・ラップトップ・コンピュータ、デジタルカメラ（デジタルビデオカメラ）を持参できる人は持ち込んでも構いません。（受講条件ではありません）
- ・制作された作品は総合研究博物館の映像コレクションとして公開することがあります。
- ・全日程終了後、受講者には「学芸員専修コース修了証書」が授与されます。
- ・宿泊場所は受講者が各自で手配して下さい。

※なお、この募集要項は東京大学総合研究博物館のホームページでご覧いただけます。

平成22年度「学芸員専修コース」日程

テーマ：映像博物学の挑戦

月 日	時 間	内 容	講 師
11/8 (月) 本館 第一演習室	10:00-10:20	オリエンテーション	
	10:30-12:00	(仮) 映像博物学概論	松本 文夫 東京大学総合研究博物館 特任准教授 (建築設計、情報デザイン)
	13:00-14:30	(仮) 映像の構想と制作	河瀬 直美 映画監督 (監督作品：「殞の森」「萌の朱雀」ほか)
	14:40-16:10	博物映像表現論	遠藤 秀紀 東京大学総合研究博物館 教授 (比較形態学、遺体科学)
	16:20-17:50	(仮) 映像のアーカイブ	岡田 秀則 国立近代美術館フィルムセンター 主任研究員 (映画史・映画アーカイビング)
11/9 (火) 本館 第一演習室	10:30-12:00	(仮) 映像人類学	川瀬 慈 マンチェスター大学グラナダ映像人類学 センター研究員 (映像人類学)
	13:00-14:30	(仮) 映像による自然科学研究	宮本 英昭 東京大学総合研究博物館 准教授 (固体惑星科学)
	14:40-16:10	(仮) 映像制作演習	松本 文夫
	16:20-17:50	受講者自己紹介、課題説明 グループ編成	松本 文夫
11/10 (水) 本館 第一演習室 ほか	10:30-12:00	演習 映像作品の構想Ⅰ	松本文夫
	13:00-14:30	演習 映像作品の構想Ⅱ	同上
	14:40-16:10	演習 映像作品の構想Ⅲ	同上
	16:20-17:50	中間発表Ⅰ (企画構想)	同上
11/11 (木) 本館 第一演習室 ほか	10:30-12:00	演習 映像作品の制作Ⅰ	松本 文夫
	13:00-14:30	演習 映像作品の制作Ⅱ	同上
	14:40-16:10	演習 映像作品の制作Ⅲ	同上
	16:20-17:50	中間発表Ⅱ (試作映像)	同上
11/12 (金) 本館 第一演習室 ほか	10:30-12:00	演習 映像作品の制作Ⅳ	松本 文夫
	13:00-14:30	演習 映像作品の制作Ⅴ	同上
	14:40-16:10	演習 映像作品の制作Ⅵ	同上
	16:20-17:50	映像作品発表会 (完成作品)	岡田 秀則 川瀬 慈 遠藤 秀紀 宮本 英昭 松本文夫

※最終日の映像作品発表会終了後、修了証書授与式等を行います。

※講師・講義内容等については都合により変更になることもあります。